



# 長野県議会議員 今井 あつし 県政報告

皆様のお声をお寄せ下さい。 自民党県議団 E-mail:nagano@jimin.info

## 県民の皆様が安全に 安心して暮らせるために

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年4月の県議選においては皆様にご支援をいただき、誠にありがとうございました。再度、県議会議員として働かせていただけることに感謝申し上げます。

引き続き1期4年の経験を活かし、本県が抱える諸課題に対し積極的な政策提言をまいります。

さて、昨年は未曾有の東日本大震災が発生し被災地では甚大な被害と多くの犠牲者が出るなど、改めて災害の恐ろしさや悲惨を感じたところです。

現在、国民の絆のもとに復興へ向けての取

り組みが進められておりますが、一日も早く明るい日本に戻る事を願っております。

日本経済は東日本大震災の影響や欧州情勢の緊張を背景とする海外経済の減速と急速な円高の進展により、厳しい状況となっております。

また、県内経済では製造業の生産と輸出が弱まっており、先行きにおいて円高の長期化などが懸念されることから慎重な見方となっております。

県民の皆様が安全に安心して暮らせるためには、第一に景気の回復そして雇用の確保が大切だと考えます。

### 総務企画警察委員長に就任

総務企画警察委員会は県行政の総合的な企画調整、健全財政の維持、地域の芸術文化の創造、私学の振興、交通事故・少年非行の防止などについて調査や議案等の審査をします。委員会は10人で構成され、委員会メンバーは各会派の代表の方々であり、それなりに委員会運営では苦労することも多いですが、学ぶことも多いです。また、委員会の開催数も他の委員会より多く、委員長は議長・副議長の代理で県内各地で行われる大会等に出席することも多く、多忙ではありますが精一杯務めさせていただいております。



年末特別警戒出発式



総務企画警察委員会現地調査

## 東日本大震災に伴う 12,310名 長野県警察からの特別派遣の状況

3月11日の地震発生以来、長野県警察からは広域緊急援助隊を含め、警備部隊・交通部隊・刑事部隊・特別機動捜査派遣部隊・生活安全部隊・地域特別派遣部隊・連合機動隊・情報通信部隊の8種類の部隊が被災地へ出動しました。出動人員は延べ12,310名(H23.12.5現在)で、行方不明者の救出救助・捜索、交通誘導、検死と遺族対策、避難所等での警察安全相談、パトカー・徒歩による警戒警ら、仮設住宅警戒などの活動を続けています。



県警特別派遣の状況調査



東日本大震災状況調査



栄村被災状況調査



現地調査(茅野・富士見・原)



## 視察・調査



総務企画警察委員会現地調査(鹿児島・熊本・博多)

平成二十三年度 一般質問

観光道路の整備による

観光振興と新たな

経済対策の可能性について

6月定例会一般質問より  
6月定例会では次の3項目について質問しました。

①大震災等に関連する

中小企業振興対策について

②観光道路の整備による観光振興と

新たな経済対策の可能性について

③部局横断による

各種本部・検討組織の設置について

この中から、②の質問を要約して掲載させていただきます。

(第376回 長野県議会 会議録より  
(今井敦)

かつて長野県企業局が建設し管理をしていた有料道路は、経営上の問題や地元の要望などにより、昭和46年以降、順次無料開放され、現在一般県道として管理をされている。無料化により地域住民や観光客の利便性は向上したが、無料開放後、近年は路面の損傷が激しいなど十分に維持管理がなされていない場合があり、昨今はその輝きを失い、本県の代表的な観光道路として満足できる機能や魅力を発揮していないように思われる。

そこで、さまざまな役割を担う道路がある中で、これまで観光地における道路の維持管理や整備はどのように考えられてきたのか。また、優先順位はどの様であったか。建設部長に伺う。

本県の観光に温泉や郷土食は重要であるが、観光地において道路は単に移動手段のためのインフラだけでなく、観光資源としての役割を果たしており、本県において道路も重要な観光資源である。

そこで、旧有料道路を初めとするいわゆる観光道路の一斉点検を行うとともに、観光資源として補修、改良すべき有益な箇所、区間をリストアップした上で優先順位をつけ、計画的に整備を行うことを目的とした「長野県観光道路再生整備計画」を策定してはどうか。その必要度についてどのように考えるか。この点について建設部長、観光部長、それぞれに伺いたい。

なお、当該整備計画は、観光振興をソフト事業だけではなくハード事業からしっかりと



支えるものであることに加え、昨今の先行きが見えない混沌とした社会経済情勢の中で、地元の観光業者を初めとする関連業界にしっかりととした道筋、すなわち道路の中長期的な整備計画を示すことにより将来の事業展開に希望を持たせるものであり、新たな経済対策に十分なり得るものと思うが、知事の考えを伺いたい。

また、観光客の誘致に当たっても、景観に溶け込むような美しい観光道路の維持管理、万全な防災対策など、観光地そのものの素材としての質の維持は決して置き去りにしてはならない。質の向上は不断に図られるべきと思うが知事の考えを伺いたい。

(堀内建設部長)

県では、道路整備に当たり、交通量の状況、渋滞や交通事故の状況、これらに加え、観光地へのアクセス性の状況、このようなさまざま

まな視点から必要性や緊急性、重要性などを総合的に評価し、評価の高いものから順次事業を進めてきている。

また、道路の維持管理に関しては、この整備の視点に加え、舗装や橋梁などの道路施設の損傷状況や危険性等を評価し、道路維持や防災対策などを進めてきている。

このように、観光道路も含めた県内全体の道路の中で優先順位を考え、選択と集中により整備や維持管理に努めてきている。

次に、観光道路の再生整備計画の策定に関しては、観光産業の振興に対し道路整備の面からこれを支えるために、観光地とそれにアクセスする道路、あるいは観光地内を通る道路を観光の重要な要素ととらえ、その価値を高めていくということには非常に重要なことだと認識をしている。

議員御提案の長野県観光道路再生整備計画については、これから策定をする新たな総合5カ年計画なども考慮に入れながら、策定の必要性等について関係部局とも協議し研究してまいりたい。

(野池観光部長)

観光旅行者が県内で観光する際に用いる交通手段は約6割が自家用車で、これにレンタカー、バス、タクシーなどを加えると約8割の観光旅行者が車を利用しており、観光振興の面からも道路整備は極めて重要だと認識をしている。

景観や文化財に恵まれた道路、これは高規格なものから街道と言われるものまで数々あるが、それ自体観光資源として高い付加価値を持ち、整備の要望も大変強いということは御指摘のとおりで、十分承知をさせていただいている。

観光部としては、観光立県長野再興計画に掲げた地域ごとの観光ビジョンがあるので、これを踏まえ地元の要望をよく聞き建設部とも共有をしてまいりたい。新5カ年計画と同時期に再興計画を見直すので、この際には御提案の趣旨について研究をさせていただきたい。

(阿部知事)

私も観光地の道路は観光資源の一つだと認識している。これまで、景観に配慮した様々な工夫等々実施してきているが、観光地の道路の質の向上に引き続き取り組んでいくことが重要と思っている。

観光道路再生整備計画については、観光ということを考えたときに、自動車でお越しになる方、あるいはバスでお越しになる方、点ではなくて恐らく線的な移動も楽しんでいる方が多いのではないかとと思う。そういう意味で、今回の提案は大変興味深い。観光地に通じる道路の整備は観光振興という面だけではなく、地域経済活性化に資するのはもちろん、長野県のイメージにもかかわる問題ではないかと思っている。

有料化が無料化になった後の取り組みについては、財源のあり方も含めて今後研究を行っていききたい。

(今井敦)

5カ年計画に向けてしっかりと研究をしていただきたい。一方で財源論についても提案をさせていただきたい。法的に多少問題点はあるが、少ない財源を観光道路の維持管理だけに振り向けることができます。困難になつてきている今日であるからこそ、観光道路についても、大胆に、そして発想を柔軟にして、企業とのコラボレーションによりネーミングライツなどを風光明媚な道路区間や美しいカーブ、そしてまた直線等に導入して、そこから得られる資金を観光道路の維持管理、整備等の特定財源として活用してはいかかがと考える。



中南信現地調査(宮川寒天蔵)



現地調査(茅野・富士見・原)

本年度  
委員会・議員連盟(役付)配属

- ・総務企画警察委員長
- ・県地方滞納整理機構議会議員
- ・がん征圧議員連盟 幹事
- ・議会改革調査会 幹事長
- ・県議会中期総合計画研究会 委員

自民党県議団 茅野・富士見・原 支部  
TEL.73-8258  
〒391-0216 茅野市米沢397-1  
http://www.imai-atsushi.com/  
自民党県議団 TEL.026-232-0111  
〒390-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2議会棟2階